

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（48） 学校名 豊田市立広川台小学校

1 テーマ

共に学び 共に体験する 健康安全教育

～生涯を通して健康で安全な生活を送れる子どもの育成を目指して～

2 ねらい

児童が伸び伸びと成長し、生き生きと真剣に学習活動に励むことができる学校づくりを目指す。そのためには計画的恒常的に整備された学校環境の中で、心身ともに健康な状態で活動できなければならない。学校教育を、生涯を通して健康で安全な生活を送るための基礎を培う場と捉え、次の3点を具現化する。

- ① 食と姿勢に関する実践的な学習を通して、望ましい健康習慣の形成を図る。
- ② 発達段階に応じた基礎的な身体能力を身に付ける「体づくり運動」を充実することで、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。
- ③ 校内整備員を配置することで、本校児童の心の健康を保つとともに、より安全で学習しやすい環境を整える。

3 活動内容

- ① 保健委員会が中心となり、健康を考えた食育や理学療法士による体感を鍛える姿勢エクササイズの実践を行う。
- ② 年間を通して、体育の学習や休み時間に「体づくり運動」を行う。
- ③ 校内整備員による活動を通して、子どもたちが安全・安心に過ごせる学習環境を構築する。

4 成果と課題

食育や姿勢づくりの実践を通して、バランスのとれた食事や体に負担のない姿勢の大切さを知った。保健集会では「体いきいき・心わくわく・トロロっ子」と題して、保健委員が普段教室でよく見かけるシーンを再現し、姿勢について考える寸劇を演じた。体づくり講師による授業では、良い姿勢を知ると共に、悪い姿勢を続けると体にどんな影響が出るかを学んだ。良い姿勢を保つためのストレッチを保護者と共に行った。体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができた。親からは「その姿勢でいいの？と言うだけで背筋が伸びるようになった」「大人も勉強になった。子どもと一緒に楽しめる活動を今後も期待している」と、運動に対する意識を向上することができた。また、縄跳び週間を設け、独自の「縄跳びビンゴカード」を作成し、体育の学習及び休み時間に縄跳びを行った。縄を跳ぶ技に限らず、跳ばなくてもできる技や簡単にできる技を厳選し、誰もが気軽に縄跳び運動に挑戦できるようにした。また、一人で運動することだけではなく仲間と共に運動する喜びを感じ

ることもできるように二人技や大人数で行う技を設定し、「とてもやる気になった」「いろいろな技があってとても楽しかった」といった感想がカードに書かれていた。校内整備員の配置により、学校環境を整えることの大切さを学んだ。校内整備員の姿を見るたびに「ありがとうございます」と感謝の言葉を伝えたり、一緒に草取りや畑の水やりをしたりする姿が見られた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

事業にかかわる行事や取組を、学校のホームページや学校だよりで写真とともに掲載し、保護者や地域へ紹介した。また、保護者に少しでも様子を見ていただくため、きずなネットや学年だよりで情宣した。